



学校だより 神橋

がつごう
7月号

れいわ ねん
令和8年7月
よこはましりつかみはししょうがっこう
横浜市立神橋小学校

かかわりの中で深まる学び

ふくこうちよう ふじわら ゆ き こ
副校長 藤原 由紀子

梅雨の合間にのぞく青空に、夏の訪れを感じる頃となりました。
子どもたちが育てている花や野菜も、日ごとにぐんぐんと成長しています。子どもたちは、水やりなどの世話をしながらその様子をうれしそうに見守っています。

私が通りかかると、「こんなに大きくなったよ。」「ミニトマトに実ができたよ。」と、子どもたちが目を輝かせて教えてくれます。そんな中、自分が育てているキュウリの花を見て、「ここに、もうすぐ実ができそう。」「と話してくれた子がいました。どうしてそう考えたのか尋ねると、「前に収穫したときは、花が咲いたところに実がついていたから。」と、自分の経験をもとに教えてくれました。

毎日世話をしながら継続して観察することで、小さな変化にも気づき、それをもとに考えを深めている様子に、子どもたちが生きた学びを重ねていることを感じました。教科書やインターネットから得た知識だけではなく、自分の経験から考えている姿は、とても頼もしく感じました。

また、野菜に合った世話の仕方についても、子どもたちは試行錯誤を重ねています。鳥に実を食べられないようにするにはどうしたらよいかと考え、自分なりの方法を試したり、葉が黄色くなってしまったときにはどうすればよいか悩み、解決方法を真剣に考えたりしていました。

地域で野菜づくりをされている方に教えていただいたり、友達と話し合ったりしながら、人とのかかわり、考え、試していく中で、学びが広がっていることを感じます。

神橋小学校では、「主体的に学び、かかわりの中で、考えを深化させることのできる児童の育成」をテーマに、生活科、総合的な学習の時間の授業研究に取り組んでいます。

子どもたちは、「野菜を育てること」のような身近な学習の材に夢中になってかかわりながら、自ら考えて行動し、その中で新たな気づきを得ています。さらに、専門家や地域の方など、さまざまな人とのかかわりの中で、新しい見方や考え方に出会い、自分ごととして捉え直して学びを深めます。そして、考えたことや気づいたことを、相手を意識して伝えながら、再び学習の材に向き合っていく…こうしたかかわりを繰り返すことで、子どもたちの学びは一層豊かなものになっていくと考えています。

今後も、活動の中で子どもたちが主体的に学び、試行錯誤しながら考えを深めていけるよう、支援していきます。



学校ホームページ

← 子どもたちの様子を学校ホームページで随時紹介しています。ぜひご覧ください。